

朝倉市復興計画基本方針

1 復興の基本理念

本市の復興に向けた基本理念は次のとおりです。この理念に基づき、復興計画を策定します。

(1) すまいと暮らしの再建

被災者の生活再建のための住宅、福祉、医療、教育、雇用などを総合的に支援するとともに、「すべてのひとにやさしい、快適で安心して暮らせる」まちづくりを進めます。

(2) 安全な地域づくり

今回の災害の教訓を踏まえ、河川整備、砂防・治山等の安全対策を実施するとともに、自助・共助・公助による地域防災力の向上、コミュニティ強化等、ハード事業とソフト事業の両面において「市民の命を守る、災害に強い」まちづくりを進めます。

(3) 産業・経済復興

甚大な被害を受けた農業、林業、商業、工業等のあらゆる分野の産業復興に向けた取り組みを支援し、地域経済の活力を早期に取り戻すことで「働く場のある」まちづくりを進めます。

2 復興計画策定にあたっての基本的な考え方

(1) 復興の主体

市民と市が主体となり、行政（国・県）、大学、関係機関と協働で復興を図ります。

そのために、市民の「思い」、「願い」を計画に反映できるように、被災地を中心とした各地区に「復旧・復興推進協議会」を設け、市民が主体となる協働によるまちづくりの場を設けます。

(2) 対象地域

被害は市全域に及んでいることから、市全体を対象とするとともに、特に被害が大きい市東部（山間部や河川流域）や市南部（河川氾濫）などは必要に応じ、地区別の復興に向けた取組方針を検討します。

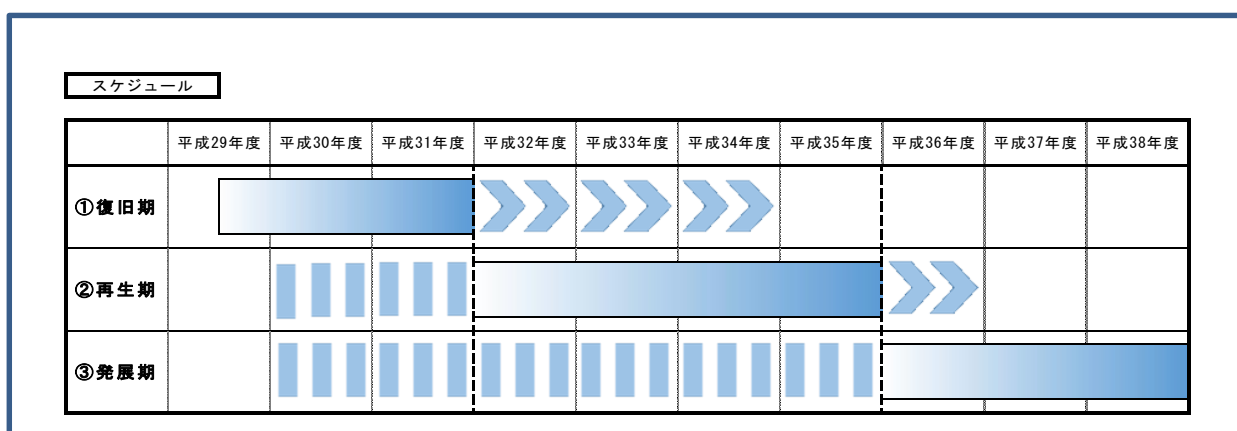
(3) 国・県への要請

復旧・復興を着実に推進するために、必要な事業の実施や財政支援等について、国及び県に対し要請していきます。

(4) 計画期間

復興にあたっては、平成29年7月九州北部豪雨発生からおおむね10年後の姿を見据えながら、段階的かつ着実に取り組みます。

- ① 復旧期→平成29年度から概ね平成31年度まで
生活や産業の再開に不可欠な住宅、生活基盤、インフラなどの復旧に加え、再生・発展に向けた準備を進める期間とします。
- ② 再生期→概ね平成32年度から平成35年度まで
復旧期と連動し、復旧期に取り組んだ残りの本格復旧を進めるとともに、災害前の活力を回復し、地域の価値を高める期間とします。
- ③ 発展期→概ね平成36年度から平成38年度まで
被災地が新たな魅力と活力ある地域として生まれ変わり、発展していく期間とします。



(5) 計画の進捗管理

復旧・復興に向けた取組を着実に遂行し、市の将来像を実現するための進捗管理を実施します。

その上で、必要に応じ、本計画の見直しを行うこととします。

3 復興計画に係る組織体制

市民の意見や有識者等の幅広い考えを取り入れた復興計画を早期に策定し、復旧・復興施策を総合的かつ円滑に推進していくために、次のような組織体制を構築します。

(1) 災害復旧・復興推進本部の設置

復興に関して必要な事項を協議し、所要の調整及び推進を図る意思決定機関として復旧・復興推進本部を設置します。

(2) 朝倉市復興計画策定委員会・専門部会の設置

① 朝倉市復興計画策定委員会

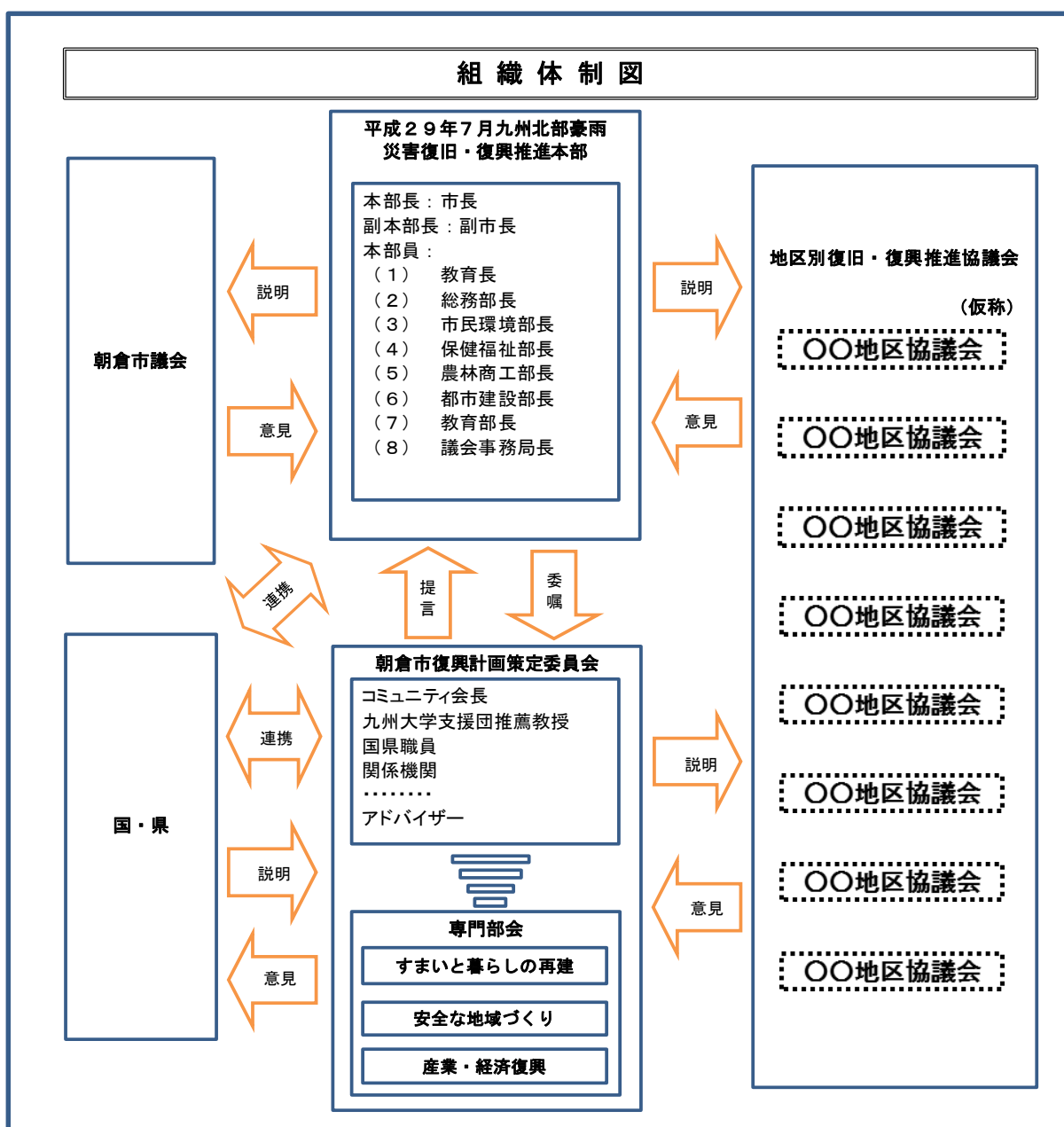
市民及び災害復旧・復興に関し識見を有する者で構成する「朝倉市復興計画策定委員会」を設置します。朝倉市復興計画策定委員会は、本市

の復興に関し広く提言等を行います。

② 専門部会

策定委員会の委員で構成する3つの専門部会（すまいと暮らしの再建部会、安全な地域づくり部会、産業・経済復興部会）を設置し、調整を図りながら各施策を横断的に審議し、復興計画（案）の検討・調整や復興事業の検討を行います。

なお、この他にもさまざまな分野の有識者等から専門的な意見等を聴取し、復興計画に積極的に反映させます。



(3) 市民主体の計画策定に向けた体制の整備

復興計画策定において、市民の意見を幅広く取り入れるために、次の取組を行います。

① 地域住民組織の立ち上げ

地域住民を主体とした地域住民組織（地区別復旧・復興推進協議会）を被災地を中心とした各地区に立ち上げ、大学等とも連携しながら、市からの情報提供や市民からの意見聴取を行うことで、市民の「思い」、「願い」を計画に反映できるよう取り組みます。

また、復興計画の策定には、職員が総力をあげて取り組んでいく必要があります。職員一人ひとりが自覚を持って積極的に地区別復旧・復興推進協議会をはじめ、計画策定に関わります。

② 市民アンケートの実施

これからの本市の復興まちづくりに対する市民の意向を把握するため、復旧・復興の方向性に関して市民アンケートを行います。

③ 市民意見公募（パブリックコメント）の実施

復興計画（案）に対するパブリックコメントを行い、広く市民から意見を募集します。

